

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 高橋美佐	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究</p> <p>今年度は以下の2点について、研究をすすめた。</p> <ul style="list-style-type: none">・周遊型観光行動に関するモデル解析 昨年度収集した北海道のツーリングデータを利用し、1回の旅行で複数の観光地をまわる周遊型観光に関する空間行動に関するモデル解析を試みたが、精度のよい推定が得られなかった。旅行者のほとんどが道内発着を同一地点とするループ経路をたどるなど旅行経路の特性を加味したモデルの改良が必要との結論にいたった。・神戸市の社会人口動態と地域間移動の傾向に関する基礎分析 神戸市の近年の社会人口動態はほぼ横ばいであるものの、日本全体での人口減少、人口流出による過疎化が進行する地方の状況と比較すると、神戸市は、誘引力の強い関西経済圏の大都市といえる。しかし、市内は、ニュータウン、都市部、田園・農村集落地域など多様な地域で構成されており、市内地域間の人口移動も比較的多く、ある種全国の地方と都市の関係の縮図ともいえる。そこで、地区ごとの人口動態や地域間移動の傾向について、これまでの推移等の動向を把握するための基礎分析をおこなった。 <p>(2) 教育</p> <p>学部基礎教育科目の情報分野担当の非常勤講師のコーディネートや連絡業務を行った。また、学部の演習担当教員の協力のもと「情報基礎1」科目のための参考教材を提供し、授業の円滑な運営と内容充実に努めた。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>特になし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(研究)</p> <p>本年度おこなった神戸市の社会人口動態と地域間移動の傾向に関する基礎分析の結果を踏まえ、とくに移動の多い若年層の移動傾向や居住地選択の傾向をもとに、居住地選択モデルを用いたモデル解析を実施し、居住地選択の決定要因について計量的分析を試みる予定である。</p> <p>(教育)</p> <p>引き続き、学生、特に新入生の情報リテラシーレベルの動向と時代の要請の変化に注意し、「情報基礎1」科目を中心に学部カリキュラムの情報・統計分野科目の円滑な運営と内容充実に努めたい。</p>	